

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年5月2日

もてぎカートレース第2戦

SSクラス(参加12台)

ツインリンクもてぎ北ショートコース

フレーム :birel RX31SE

エンジン :YAMAHA KT100SD

タイヤ :BS SL07

エンジニア:加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック:田口 剛(チーム エッフェガーラ)



★今大会にむけて

前回はとんとん拍子で優勝することができたが、ライバル達も躍起になっているので油断せずにレースウィークに挑みました。調子に乗り過ぎてポカをしないよう、あまりハメを外しすぎないように心がけた。

前日の走行では、マシンもエンジンも調子が良かったのでレースを想定したプログラムを消化できた。

トップ勢はタイムが均衡しているので、明日のレースは混戦が予想され面白くなりそうです。



公式練習・TT

NEWタイヤを履いて出て見ると、昨日とはフィーリングがまるで違い苦戦する。

タイムもトップから0.5秒も遅い42秒5ぐらい。

不安を抱えつつTTに挑む事になりそうだったが、元全日本ドライバー郡司さんの「朝一の路面は滑りやすくして当然 除々に戻って来るよ」という一言で不安は薄らいだ。

気温もタイヤも全然違うのに前日と同じ走らせ方をしていた自分に気が付きTTでは、頭を切り替えて路面にあわせた走りを心がけるようにした。

すると、41秒3という驚異のタイムを叩き出し、一瞬LAPCOMがぶっ壊れたのかと思った。(145kgになって以来 もてぎコースレコードらしい。)

予選

今までのレースでは、TTがイマイチで予選で追いついて行くような展開が多かったが、TTからトップだと 一体何をすれば良いのかと悩んでしまう。

イザ予選が始まるとそんな心配は吹き飛ぶ。トップをキープする難しさを身をもって体感することになる。

前を走ると簡単に追いつかれるが、後ろになると楽に追いつける。空気抵抗の脅威を感じた。

バーミヤンとのトップ争いを楽しんだ後、最後はキッチリ抜いて決勝PPを獲得できた。

決勝

予選では大人しかった高田ジャパネットが吼えた。スタート直後から果敢に仕掛けてくる。

何とか振り切ってオープニングラップを1位で通過したが 予選とは気迫がまるで違う。

その後、決勝の大半は高田選手とのバトルになる。バーミヤンはドン祐一選手に手こずっている模様。

ペース的に余裕があったので焦りは無かった。ラスト3周目で仕掛けてトップに立つ。

そこから一気にスパートをかけようと思ったが、そう簡単にはいかない。

ファイナルラップ、1コーナーでハラんだところを高田選手、バーミヤンにも抜かれ3位に落ちてしまう。

完全に自分のミス。最後は根性で高田さんを抜き2位を獲得したが、最後の最後でやっちゃった～

◆レース結果

TT 1位 (41.368)

予選 1位

決勝 2位

◆シリーズランキング

1位 (28ポイント)

第2戦終了時点

★レースを終えて

ペース的に余裕があったにも関わらず、肝心なところでミスリ優勝を逃したのは情け無い。

チャンピオンシップでは致命傷になりかねないので、今後は粗相が無いよう気を引き締めて挑みたいと思います。

今回のレースで、また新たな課題も見えたので、その辺りを鍛えて、次も面白いレースができればと思います。

チームエッフェガーラのみなさん、加藤代表をはじめ、メカニックの田口さん、応援に来てくださった方々ありがとうございました。